



テーマカラーは白、黒、ゴールド、
大人のためのカーニバル。

ドロテ・モネステイエール、
ガブリエラ・トスカン・デュ・プランティエール
my little day 代表兼デザイナー



1. 白蘭のシュークリームなど、優雅な白いお菓子はセバスチャン・ゴダール。可憐な花は7区のフローリスト、アドリアンヌ・M。2. 壁に飾られた丸飾りは、薄紙を扇状に折ってゴールドにペイントしたオリジナル。アンティークの魔台やクリスタルグラスのセッティングに映える、シックな演出。3. ボンボンをいくつも重ねた飾り「ギルランド」はmy little dayの人気アイテムのひとつか。



遊び心を、随所にちりばめて。
モノトーンを中心にエレガントな色調でまとめながらも、部屋全体がハッピーなムードに包まれている。天井から垂らしたボンボン飾りに、壁に掲げた円状のペーパーオブジェ。それぞれがアクセントになって、愉しげな空間に彩りを添えている。花とキャンドルも今回はホワイトで統一した。
「テーマカラーを一色決めて、種類の違う花をミックスするのがおすすめです。プロカントで見つけた古いミルクポットに小分けして飾れば、揃みだてみたいな素朴な印象になるわ。幻想的な陰影を映すキャンドルも欠かせません」
最後に、パーティを盛り上げる、おしゃれにもひと工夫して。
「パリの伝統的な新年のソワレといえば、ブラクタイ・パーティが定番だからドレスコードは、男性がブラクタイ着用、女性がミニブラクドレです。でも、そんなクラシカルな装いに、動物のマスクをつけて仮装するのが私たちが流のユーモアね」



異なる素材をミックスすることで白一色でもありあるコーディネートが完成する。やお菓子が美しいアクセントに。



Dorothee Monestier (左)
Gabriella Toscan du Plantier (右)

演劇の専門学校で同級生だったふたり。卒業後は子ども向けの劇団役者としてお互いに活躍していたが、ドロテの出産を機に2010年からパーティを楽しくデコレーションするための雑貨ブランドmy little dayを設立。キッズや大人向けのスタイリッシュな提案で人気のパリエゾン。

うさぎやメカネのマスクで華のある仮装パーティが実現。カットした厚紙にラメ入りのペイントを塗ってカスタマイズしたもの。



- ◆ ゲストと一緒に楽しむ、
- ◆ ささやかなアイテムを収納。

プリンセスな気分になれる黄金のティアラは、紙をカットして着色しただけの手作り。子どもたちにも喜ばれそう。重ねたボックスにはトランプや仮装グッズなど、+αのアイテムを収納して。



- ◆ 意外な材料を使って、簡単にデコレーション。

お花を挿したストローを、マスキングテープで留めただけのラフさがキュート。シンプルなドアも、アイデア次第でこんなに素敵に変身。my little dayオリジナルの黒白ストローを使用。



happy chic
あえて色味を抑えた、シック×ポップな装飾例。

- ◆ わくわくドキドキしながら開ける、
- ◆ 秘密の小さな宝箱。

星やストライプ、ダミエ柄のペーパーはmy little dayのオリジナル。ピラミッド型の箱を開けると中にはゲストにちなんだユニークなメッセージが書かれている。そんなサプライズも楽しい。



- ◆ ロウソク+光沢感のある小物で、輝きのマジック。

キャンドルの揺れる打りを受けると、ミラーボールが幻想的な輝きを放つ。田舎のプロカントで見つけたアンティークのフレームは、銀色にペイントしてミラーをはめ込んだ。



- ◆ 伝統的なお菓子を、
- ◆ あえてモダンな柄にのせて。

19世紀から愛されているクラシックなお菓子。ルリジュースはモダンな柄のペーパーディッシュにのせてサービスする。コンテンツラリー×伝統のミックスがふたりらしいプレゼンテーション。



- ◆ 白いメレンゲを、白いお皿にディスプレイ。

優しい白の世界が広がる。大人のためのロマンティックなアグリティフ用カウンター。白い壁に白いアンティークの鏡。そしてフェミニンな菓子皿に飾った、葉柄なメレンゲが可愛い。



- ◆ プチサイズのお菓子を花を、シャンパンとともに。

南仏のアーモンドのお菓子カリソンを、大きめのお皿にリズムカルにのせて。可憐なユエポルビア(トワダイザ)を添える。シャンパンとともに楽しみたい。白い皿の完成。

- ◆ ペーパーオブジェが奏でる、
- ◆ シックな色彩のファンタジー。

たくさんの立体形の球状デコレーションで、ソファの周りをハッピーなイメージに演出。白、黒、グレーのモノトーンカラーで大人シックなパーティを盛り上げてくれる。ペーパーオブジェを。

